

第15回 L G - N e t 研修会 in I W A K I News letter

令和7年6月30日 Vol.4 直前号

いよいよ今週末に迫った研修会です。現在準備も大詰めとなっておりますが、それもこれも実りあるものとするため・・・参加される方にとっても我々にとっても良い研修会となるように進めていきたいと考えています。

当日参加される方々への お願い です

会場となるいわき産業創造館様は複合施設で、当日は研修会に関係のない方の利用もあります。

また、当日は受付の混雑が予想されますので、下記注意事項を必ずご確認ください。

1 施設関係のご注意

①当日、JRいわき駅側に面した出入り口（ペDESTロリアンデッキ出入口も含む）は、午前10時まで封鎖されています。裏面の会場図をご参照のうえ、銀座通り側エレベーターをご利用ください。 ※当日9時45分頃までは関係者が誘導します。

②お車でお越しの方は施設地下、又は周辺の有料駐車場をご利用ください。なお、この研修会において料金優待等はございません。

③この建物は「敷地内禁煙」です。喫煙される方は建物を出て施設外でお願いします。なお、携帯灰皿の使用など、マナーに十分ご配慮ください。

④メイン会場の展示ホール前のホールラウンジには、有料シェアオフィスが併設されておりますので、私語はお控えくださいますようお願いいたします。守っていただけない場合、係が注意させていただくことがあります。あらかじめご承知おきください。

⑤館内にゴミ箱はありません。ペットボトル等含め、ゴミはお持ち帰りくださいますようお願いいたします。※ご注文いただいている弁当に限り、会場にて回収します。

いわき市の国宝

いわき市には、福島県内唯一の国宝建造物である白水阿弥陀堂があります。

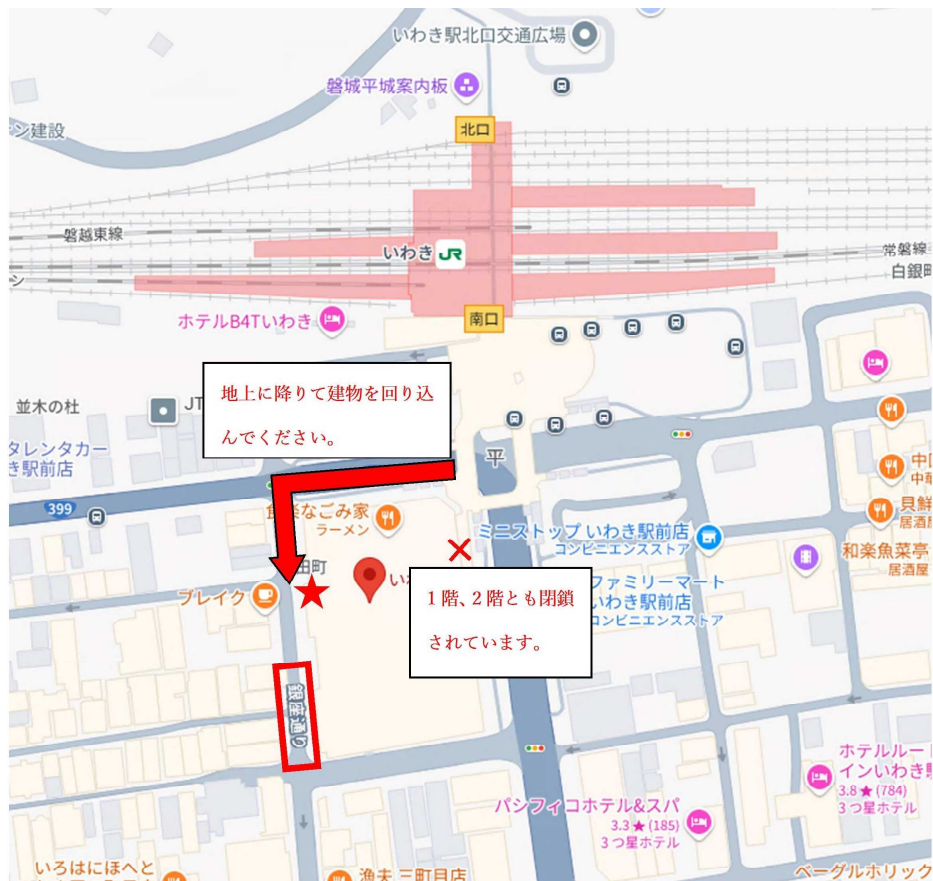
この阿弥陀堂は真言宗智山派願成寺のお堂として建立されました。このお堂を建立したのは、砂金と交易を背景として平安末期に栄華を極めた奥州藤原氏の祖とされる藤原清衡の養女（三代秀衡の妹）で、岩城則道の室となった徳姫とされています。

奥州藤原氏の拠点は岩手県平泉なのですが、元々いわき（旧平地域）と平泉は縁が深かったようで、「泉」を分解して「白水阿弥陀堂」としたと言われており、伽藍も中尊寺金色堂を模した造りになっています。東北地方に現存する平安末期の建築物は3箇所しかないようで、その1つがこの阿弥陀堂、更にもう1つが中尊寺金色堂なのだそうです。

奥州藤原氏の史跡としては浄土式庭園で著名な毛越寺^{もうつうじ}がありますが、この阿弥陀堂にも素晴らしい浄土式庭園があります。平泉の文化を持ち込もうとしたのかもしれませんが。

こちらのお堂には5体の仏像（いずれも重要指定文化財）が鎮座しています。

裏面も必ずご確認ください



2 スムーズな運営にご協力ください

①受付にネームホルダーを用意しております。ご自身の名刺を入れていただきますので必ずご持参ください。※ネームホルダーは研修終了後（情報交換会に出席される方は情報交換会終了後）に回収いたします。

②受付は窓口を2カ所用意します（うち1つは法人会員・民間）。負担金はお申込状況により変わりますので、お釣りが出ないようにあらかじめご準備をお願いします。

研修会負担金	1, 0 0 0 円（法人会員は例年通り免除です）
昼食お弁当	1, 0 0 0 円
情報交換会	8, 0 0 0 円

なお、「私何を申し込んだだろう？」という方がおられましたら、法人問い合わせフォームからお問い合わせください。<https://lgnet.or.jp/> 右上に「ご質問・お問い合わせ」ボタンがあります。

なお、本業の合間に対応するため回答にお時間をいただくことがあります。また、理事が7月3日以降順次いわきに向けて移動をするため、お問い合わせは早めをお願いします。

③当日の急な連絡、このニュースレターで解決できない内容につきましては下記までご連絡ください。なお、本研修会に関するいわき産業創造館様へのお問い合わせはお控えくださいますようお願いいたします。

理事 山田 雄大 (080-1211-9278 yamada@lg-net.or.jp)

理事 向井 啓 (080-1883-4043)

（後記）

4号目のニュースレターです。今回はお願いばかりの内容ですが、ご協力お願いします。これを中和しようと思いあぐねた時に、ふと福島に赴任経験のある叔父から聞いた白水阿弥陀堂の話を思い出し、中学の自由研究の奥州藤原氏の記憶と繋げてみました。（O Y）

研修会まで、あと5日